

令和2年度学校関係者評価
専門学校中央医療健康大学校 トータルケア鍼灸学科

令和2年度学校関係者評価委員	
■保護者	旭 恵美子様 トータルケア鍼灸学科2年 旭 穂乃果さん保護者
■企業関係者	土屋 奈央様 はりきゅうサロンQuiet代表
■他校関係者	太田 有希子 中央調理製菓専門学校静岡校 上級調理経営学科 教員

1. 教育理念・目標		
【自己評価結果】		平均
1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。	A
2	教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。	A
3	教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか。	B
4	組織での目標設定が適切にされ、実行できたか。	A
5	鈴木学園クレドは教職員に浸透し、実践されているか。	A
【現状の問題点】		
全体的に向上しており問題ないと思われる。より一層の浸透を図っていきたい。		
【改善のための方策】		
外部が利用する実技室にも掲示しながら体外にもアピールしていきたい。		
【関係者評価】		
朝礼や実習前に衛生クレドなどを読んでいる。 クレドは当番が一項目読んでいる。		

2. 学校運営		
【自己評価結果】		平均
5	目標を達成するための事業計画が策定されているか	A
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	B
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	B
8	就業規則などの諸規定は適切に整備されているか。	A
9	組織内の連携は適切に図られているか。	A
10	上司の指示は適切にされているか	A
11	上司は提案を受け入れてくれているか	A
12	職場内での教職員教育・指導は充分なされているか。	A
13	BSCは適切に活用されているか。	B
【現状の問題点】		
全体的に向上している。情報システム化を進めて学校全体の情報が共有できるようにしていきたい。		
【改善のための方策】		
教務部長が新たに任命されているので、学校全体での情報共有をしていきたい。		
【関係者評価】		
特になし。		

3. 教育活動		
【自己評価結果】		平均
14	授業評価の実施・評価体制はあるか	A
15	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	A
16	資格試験の合格率は他校と比較して妥当か。	A
17	資格試験の不合格者の対策は適切に行われているか。	A
18	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	A
19	目標に到達しない学生には対し適切なフォローがなされているか。	A
20	職員の能力開発のために研修等を実施若しくは派遣しているか	B
20	シラバスは十分に検討し作成されていたか。	A
21	シラバスの内容見直しについて教員間で検討されていたか。	A
22	教務の問題について、組織内で適切に話し合われているか	A
23	十分に余裕を持って教育行事の準備が出来ているか。	A
24	学生による学校評価を反省し、事後の教務を改善しているか。	A
【現状の問題点】		
コロナ禍で教育活動が例年のとおり行えなかったところもあるが、全体としては良い評価となっている。合格率だけでなく受験率の向上を目指して他科との情報交換をして行く必要がある。		
【改善のための方策】		
今後もこのような感染症が起こる可能性もあるので、今回の体験を反省し、次につなげていきたい。		
【関係者評価】		
特になし。		

4. 学修成果		
【自己評価結果】		平均
26	就職率の向上が図られているか	A
27	退学率の低減が図られているか	A
【現状の問題点】		
トータルケアという名称になっているので、より多様な就職先の指導ができるようにしていく必要がある		
【改善のための方策】		
今後は学生が求める就職先への挨拶回り等を強化していく。		
【関係者評価】		
子供が美容系に興味があるので、様々な分野に就職できるとありがたい。		

5. 学生生活支援		
【自己評価結果】		平均
28	学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか。	B
28	各学校行事について、適切な事後反省を行い次回に活かしているか。	A
29	防犯・防災訓練の実施・防災計画の作成等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。	A
30	進路活動に関する支援が整備され、機能しているか。	B
31	中途退学の理由、実状を適切に把握し、教職員で共有しているか。	A
【現状の問題点】		
学生相談、カウンセリングの向上を図るために、体制については学校全体で検討していく必要がある。進路活動の支援については改善が求められる。		
【改善のための方策】		
一度挨拶に来ていただいたり、カウンセラーがいることを周知徹底していきたい。		
【関係者評価】		
入学前に90分程度挨拶してもらっている。 世間話をしながら、自然な流れでカウンセラーの案内をしている。		

6. 教育環境		
【自己評価結果】		平均
33	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	B
【現状の問題点】		
複数年度を見通しながら施設設備の整備に努めるようにしく必要がある。		
【改善のための方策】		
長期計画を学科内で検討している。		
【関係者評価】		
特になし。		

7. 学生の受け入れ募集		
【自己評価結果】		平均
34	学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法、時期は適切か。	A
34	入学案内(パンフレット)には志願者が必要とする情報が掲載されているか。	A
35	体験入学の時期、回数、内容は適切か。	A
36	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。	A
【現状の問題点】		
特に問題はないと思われる。今後も時代に対応した募集活動に努めたい。		
【改善のための方策】		
オンラインなども積極的に活用しながら募集活動を実施していきたい。		
【関係者評価】		
今年のオープンキャンパスは分散させたり、人数制限をかけたりやってきたが、オンラインでは普段来られない遠方からの参加があったので、ある一定の効果がみられた。		

8. 財務		
【自己評価結果】		平均
38	・中長期的に所属学科の学費納入基盤は安定しているといえるか	A
39	・学科で策定した予算・収支計画・執行は有効かつ妥当なものになっているか	B
【現状の問題点】		
予算等の策定は妥当なものとなるように、毎年改善をしていきたい。		
【改善のための方策】		
中長期的に計画をたて、適正な予算策定をしていきたい。		
【関係者評価】		
特になし。		

9. 法令等の遵守		
【自己評価結果】		平均
40	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A
40	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	A
41	個人情報保護法を遵守しているか。	A
42	各種ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。	B
【現状の問題点】		
ハラスメント勉強会については現状に問題があれば委員会に提案して向上を図る必要がある。		
【改善のための方策】		
受け身ではなく、こちらから提案し、活動していきたい。		
【関係者評価】		
特になし。		